

誓いの言葉

本日は二十歳を迎えました私たちに、このように盛大な門出の場を設けていただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスという大きな渦を乗り越えて、無事「二十歳のつどい」を行えたこと、本当に嬉しく思います。宇陀市長金剛様をはじめ、御臨席頂きました皆様、本つどいの開催にご尽力頂いた皆様には、心よりお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスと共存する「withコロナ」のスタートを切り、現在はコロナ禍以前の生活を再び取り戻しつつあります。こうした経験は、どんな困難に立ち止まったとしてもあきらめず生き抜くこと、つながりの大切さ、責任感のある行動の大切さなど、これから生きていく中で糧となることを気づかせてくれるものになりました。私たちはこうしたことを糧に、今後も邁進してまいります。

私たちが生まれて二十年という歳月がたちました。その多くをこの宇陀市で過ごし、こうしてこの場に立っていただけるのは、家族や友人、学校の先生方、地域の方々のおかげです。どんな時もあたたかなまなざしで見守り、支えて下さり、ありがとうございます。

社会に出て働いている人や大学・専門学校等で学業に励む人など、立場はそれぞれですが、ひとりひとりが社会の一員として、また、これまでお世話になった方々に少しでも応えられるよう、ふるさと宇陀をより良いものに発展させていけるよう行動していきたいと思えます。そして、何かと不安な国内、国際情勢ではございますが、それでも私たちは自分の目標を見失わず努力し続けてまいります。

以上をもちまして、二十歳を迎えました私たちの誓いの言葉とさせていただきます。

令和六年一月七日

中西華

池ノ上叶愛

山本和佳

京地歩夢